

**医療倫理** Medical Ethics

生命：A1-01111MS

素養科目 1年／前期 1単位 必修科目

科目責任者 川北 晃司(倫理学研究室)

**■ 教育目的**

現代における医療倫理の中心には、患者と医療者間の良好な意思疎通と情報提供がある。現代の医療倫理は患者の権利、とりわけ自己決定権を説いており、医療系以外の学生、一般の方々にも役立つことを理解する。誰もがいずれ患者となりえて、医療の世話になり、終末期を迎える。医療倫理の問題は他人ごとではなく、自分自身が将来直面せざるをえない課題であることを理解する。【卒業認定・学位授与の方針:SD-④】

**■ 学習到達目標**

1. ヒューマニズム(人間の尊厳)及びその根拠・理由を理解し、適正に判断、行動できる(知識、態度)
2. 医療倫理規範及び倫理学理論を理解し、適正に判断、行動できる(知識、態度)
3. 医薬品にかかわる開発職・研究職・営業職のプロフェッショナリズムを理解し、適正に判断、行動できる(知識、態度)

**■ 準備学習(予習・復習)**

予習：日頃から医療とその倫理に関連すると思われるニュースに注目し、可能ならば新聞紙を読む。(20分以上)

復習：配布物を読み返し、要点をチェックするとともに、気になった箇所を自分で調べてみる。(30分以上)

**■ 授業形態**

講義

**■ 授業内容**

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	導入	最近の医療倫理関連ニュース例	
2	医療倫理の古典(1)	ヒポクラテスの誓いの意義と限界など	
3	医療倫理の古典(2)	ニュルンベルグ綱領、WMA ジュネーブ宣言、WMA ヘルシンキ宣言、WMA リスボン宣言など	
4	倫理学理論・生命倫理原則(1)	倫理学理論と生命倫理4原則の意義と限界、professionalism、インフォームド・コンセント及びアセント	
5	倫理学理論・生命倫理原則(2)	人間・個人・生命の尊厳とは何か、尊厳の根拠	
6	医療倫理の問題状況(1)	守秘義務とその例外、QOLの意義と問題など	
7	医療倫理の問題状況(2)	生殖医療の倫理	
8	医療倫理の問題状況(3)	終末期医療の倫理	
9	医療倫理の問題状況(4)	先進医療と生命倫理	
10	研究活動の倫理	FFP、QRP、parafraudの回避	
11	parafraudのもたらす害	水俣病事件から何を学ぶか	
12	様々な学会と企業の倫理綱領	期待される研究者・開発者像	
13	MRの倫理	期待されるMR像	
14	近年における「薬害」例	制ガン剤イレッサによる奏功及び事故事例	
15	まとめと補遺		

**■ 授業分担者**

川北 晃司(No.1~15)

**■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法**

課題のフィードバック：質問があれば個別に受けつけ、解説・説明をする。

成績評価方法：期末試験(100%)で評価する予定であるが、レポートを課す場合もある。

**■ 教科書**

指定せず。

**■ 参考書**

松島哲久・宮島光志 編『薬学生のための医療倫理 新版』丸善出版(2021年)